



平成20年2月27日

各 位

会 社 名 広 栄 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 長 尾 雅 昭
(コード番号 4367 大証第2部)
問 合 せ 先 経 理 室 長 宮 下 和 彦
(TEL 03-6667-8281)
当 社 の 親 会 社 住 友 化 学 株 式 会 社
代 表 者 名 社 長 米 倉 弘 昌
(コード番号 4005 東証第1部)

記念配当実施(配当予想の修正)及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は平成20年2月27日開催の取締役会において、平成19年5月10日に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の1株当たり期末配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、別途、特別損失が発生しますので、その概要もお知らせいたします。

1. 配当予想の修正内容および理由

① 平成20年3月期 配当予想修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間期	期末	年間
前 回 発 表 予 想 (平成19年5月10日および 平成19年11月8日発表)	—	7円	7円
今 回 修 正 予 想	—	9円 (普通配当7円) (記念配当2円)	9円 (普通配当7円) (記念配当2円)
(ご参考) 前 期 実 績 (平成19年3月期)	—	6円	6円

② 上記修正の理由

当社の平成20年3月期の業績につきましては、経営環境が一段と厳しくなる中ではありますが、中期経営計画に沿って新製品の開発推進および製造コストをはじめ一層の改善・合理化を図りました結果、平成19年8月31日の発表時における更なる増益予想について、このほど、その確保に目処を得る見通しとなりました。

つきましては、平成20年3月期の期末配当金に関し、当社の剰余金配当に関する基本方針に則り、また株主の皆様への長年にわたるご支援・ご協力のお陰をもちまして当期に創立90周年を迎えることができましたので、1株当たり7円の普通配当金に、創立90周年記念配当金2円を加え、合計年9円とする配当予想修正を行なうものであります。

2. 特別損失の発生およびその内容

連結財務諸表提出会社(当社)においては、製造拠点の構造改革に伴い大阪プラントの一部製造設備にかかる固定資産減損処理等の損失が約3億6千万円発生すると予想され、これを特別損失に計上する予定です。

なお、この特別損失の発生は業績予想に既に織込み済みであり、業績への影響はありません。

以 上